

第258回

柏崎しんきん地区内経済指標

(平成29年9月)

 **柏崎しんきん**

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,250	-0.81	-0.12	4,236	0.95	-0.18
東部地区	14,198	0.38	-0.09	5,911	1.80	0.03
西部地区	10,087	-1.59	-0.12	4,027	-0.86	-0.04
駅南地区	6,233	-1.09	0.03	2,882	0.03	-0.17
半田地区	3,799	2.34	-0.07	1,499	4.16	-0.26
横山地区	5,279	-2.36	-0.24	1,987	-0.40	-0.30
茨目・田尻地区	7,110	-0.75	0.07	2,631	0.19	0.15
荒浜地区	4,718	-1.13	-0.06	1,979	0.00	-0.15
その他地区	17,852	-2.38	-0.22	6,940	-0.88	-0.05
西山町地区	5,534	-2.20	-0.01	2,081	-0.47	-0.19
高柳町地区	1,420	-5.14	-0.56	700	-4.10	-0.42
柏崎市計	85,480	-1.20	-0.11	34,873	0.18	-0.09
刈羽村	4,680	-0.72	0.10	1,603	0.75	0.37
小国地区（長岡市）	5,387	-2.69	0.00	2,062	-1.38	0.00
出雲崎町	4,506	-2.42	-0.13	1,737	-1.08	-0.05
合計	100,053	-1.31	-0.09	40,275	0.07	-0.06

（資料出所：柏崎市、各市町村）

○人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲1,042人、刈羽村で▲34人、小国地区(長岡市)で▲149人、出雲崎町で▲112人、全体で▲1,337人(▲1.31%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲99人、刈羽村で+5人、小国地区で±0人、出雲崎町で▲6人、全体で▲100人(▲0.09%)となっている。

○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+66世帯、刈羽村で+12世帯、小国地区で▲29世帯、出雲崎町で▲19世帯、全体で+30世帯(+0.07%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲33世帯、刈羽村で+6世帯、小国地区で±0世帯、出雲崎町で▲1世帯、全体で▲28世帯(▲0.06%)となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,608		1.13		-0.30	
月間有効求職者	1,413		1.14		1.21	
月間有効求人倍率	1.14	1.52	0.00*	0.17*	-0.02*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、月間有効求人数が1,608人で、前年同月比+18人(+1.13%)、前月比▲5人(▲0.30%)となっている。

また、月間有効求職者数は1,413人で、前年同月比+16人(+1.14%)、前月比+17人(+1.21%)となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.14倍と前年同月比±0.00ポイント、前月比▲0.02ポイントとなっており、県平均と比較すると▲0.38ポイント下回っている。

新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が700人と前年同月比+113人(+19.25%)、月間新規求職者数が400人と前年同月比▲11人(▲2.67%)となった結果、月間新規求人倍率は1.75倍となり、前年同月と比べて+0.32ポイント上回った。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成29年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	23	1	2	166	-5
共 同 住 宅	0	-1	-3	5	-10
事 務 所	1	1	1	7	5
作 業 所・工 場	1	1	0	3	-4
営 業 建 物	2	2	2	8	1
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	8	1	-3	51	-6
合 計	35	5	-1	241	-19

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は当月の申請が35件で、前年同月比で+5件となっている。年度累計での前年同月比は▲19件となっており、建物用途別内訳(累計・前年同月比)では、事務所で+5件、営業建物で+1件の増加となっているが、一般住宅(併用)で▲5件、共同住宅で▲10件、作業所・工場で▲4件、その他で▲6件の減少となっている。

工種別の当月申請内容は新築が27件であり、また一般住宅(併用)23件における市内・市外施工業者別の確認件数は、市内施工業者が22件(新築18件・増築4件)、市外施工業者が1件(新築1件)となっている。

4. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	560,921	9.17	-4.20	703,858	-2.85	-1.16
営 業 用	189,970	1.17	-22.08	122,719	-4.34	-5.26
工 業 用	846,887	-4.19	8.21	114,258	-4.98	-5.06
官 公 学 校 用	250,687	-17.73	-37.08	74,578	-5.87	-14.24
そ の 他				168	-10.63	257.44
合 計	1,848,465	-2.21	-8.05	1,015,581	-3.50	-3.18

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比▲41,776m³(▲2.21%)、前月比▲161,960m³(▲8.05%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比は家庭用・営業用が増加、工業用・官公学校用が減少しており、前月比では工業用以外が減少している。

水道給水量は、前年同月比▲36,922m³(▲3.50%)、前月比▲33,456m³(▲3.18%)となっている。用途別内訳を見ると、全ての用途で減少しており、前月比では、その他以外が全て減少している。

5. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	81,783	-0.98	-11.44	83,730	-1.33	-11.02
西 山	38,896	-2.81	-21.00	35,914	-2.73	-25.22
米 山	19,511	-1.96	-33.01	19,566	2.11	-30.23
合 計	140,190	-1.63	-17.88	139,210	-1.23	-18.19

(資料出所：柏崎市産業振興部観光課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、全体で入口が前年同月比▲2,332台(▲1.63%)と減少しており、前月比では▲30,532台(▲17.88%)と減少した。

出口は、前年同月比▲1,739台(▲1.23%)と減少しており、前月比では▲30,970台(▲18.19%)と減少した。

6. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
9 月 末	389,676	1.25	-0.84	156,671	2.74	-0.07
9 月 平 均	392,889	0.41	-0.68	155,378	2.41	-0.67

預金は、9月末残高が前年同月比+4,822百万円(+1.25%)、前月比▲3,323百万円(▲0.84%)となっている。平均残高は前年同月比+1,642百万円(+0.41%)、前月比▲2,697百万円(▲0.68%)となっている。

貸出金は、9月末残高が前年同月比+4,186百万円(+2.74%)、前月比▲124百万円(▲0.07%)となっている。平均残高は前年同月比+3,666百万円(+2.41%)、前月比▲1,056百万円(▲0.67%)となっている。

7. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	16,779	-15.12	-13.83
交 換 金 額	10,232	-27.77	-30.68
不 渡 り 手 形 枚 数	9	-50.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	16	48.01	0.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比▲2,990枚(▲15.12%)、前月比▲2,695枚(▲13.83%)、交換金額は前年同月比▲3,936百万円(▲27.77%)、前月比▲4,531百万円(▲30.68%)となっている。なお、不渡手形は9枚・16百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、10件(前年同月5件・前月6件)、負債総額12.4億円(同19.4億円・同9.0億円)となっている。地区別では、中越地区で7件(長岡市3件・三条市3件、魚沼市1件)、下越地区で3件(燕市2件・新潟市1件)発生している。業種別では卸売業で4件、建設業・サービス業で各2件、製造業・小売業で各1件発生しており、倒産原因は販売不振が7件、不良債権の累積が1件、その他が2件となっている。